

# 2021年度 教育学演習4 &10 通称沖ゼミについて

2021/03 教育学コース科目登録ガ  
イダンス資料

沖 清豪(おき きよたけ)



2021年3月

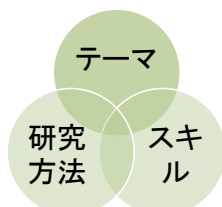
1

## 教員の紹介

- 沖 清豪(おき きよたけ)
- 研究領域・学問領域は以下の通り
- 教育社会学(主に高等教育改革)
  - 初年次教育、IR(大学自身を内部で調査研究して改善策を模索する)、学生支援の調査研究
- 教育制度学
  - 高大接続改革、英国における公正・公平問題
- 教育行政学
  - 学校評価(これまで埼玉県 の 県立学校等 で 実務)

2

## 演習4・10が目指していること



教育学演習4・10は、共通する関心に応じて編成された4~6名のグループでの調査研究を通じて、履修生に教育学のうち特に高等教育・中等教育改革に関するテーマの知見を深めること(テーマ)、文献読解・論文執筆・報告といった汎用的なアカデミックスキルを身に付けること(スキル)、および量的調査法と質的調査法という社会科学全般に適用可能な研究方法を理解し活用できるようにすること(研究方法)の三つの目標を達成するための演習です。

3

## 【演習4・10の到達目標】

演習4・10では、グループで設定した【テーマ】について、学術的に調べ、考える訓練を通じて

(1) **量的調査**(アンケート)and/or**質的調査**(修正版GTA法)を身につけることが研究方法での目標です。

→ 3年間で沖ゼミを2年履修して両方経験するのが理想です。最低限自分に必要な技法どちらかを経験するのが良いでしょう(ただしグループやテーマによってどちらが可能かは授業が始まってみないと分かりません)

(2) 「…とは何か」(だけ)ではなく「なぜ…となっているのか(いないのか)」という**研究仮説=問いを設定できるように**なることがテーマとスキルに関する目標です。

→(卒業)論文を書くため=課題設定ができるようになるための一つの道標となります。

4

## 【テーマ】の類型化



この授業でグループ作業のテーマになるのは原則として次の3つの領域の課題です。これらは相互に関連していますので、自分たちのテーマだけでなく他のグループの調査研究にも関心を持つことが重要です。

5

## 【テーマ① 高校教育等】

高校教育(一部教育社会学)関連のグループ課題の一覧です。

- 高校と大学の接続(高校改革、SSH)(14)
- 地方高校の進路指導(15)
- 附属校問題(16)
- 高校の英語教育(16)
- 大学入試(15) 高大連携(16)
- 教員の勤務負担(17)
- 地域格差(18)(20)、進学格差(18)
- 高校でのキャリア教育(18)(20)
- シチズンシップ教育(20)

6

## 【テーマ② 大学教育】

大学教育関連のテーマ一覧です。

- 初年次教育(14)・(16) 選択基礎演習(17)
- 大学の授業(14)
- キャリア教育(14)
- 大学の広報・情報発信(15)
- 大学の社会連携(16)
- 大学の社会的責任(USR)(16)
- 夜間学部(16)
- キャリア開発(16)
- 学生寮(WISH)(16)
- 大学の学費問題(17)
- 大学の卒業要件(18)
- オンライン教育(20)

## 【テーマ③ 学生】

近年学生支援との関連で学生の動向に注目するグループが増えています。

- 大学生の学力(14) (15)
- 大学生の留学(14) (15)
- 留学生と日本人学生との関係(17)
- 学生支援(15)(18)
- 不登校学生への支援(17)
- 学士力(学部で身に付けるべき汎用能力)(16)
- 教育学コースで獲得した力量(17)
- 地方出身者の就職(17)
- 学生ボランティア(18)

## スキル成果を【発信】する

- ・ 演習4・10では成果を以下の方法で(複数の形で)まとめ、報告することを重要な目標としています。
- ① **グループごとにレポート**をまとめる(必要に応じて印刷・製本し関係者に配布する)
- ② **1月末の教育学研究発表大会**で報告する(2011年度以降継続中)→ 学内外向けに**報告会**を開催する(2003年度)→ moodleの「全体」の中に20年度の報告の映像をアップしておきますので、ご覧ください(1つ15分の報告です)
- ③ **Student Competition**に参加する(2012・14年・16年度 2回奨励賞をいただきました)
- ④ **ウェブに報告書をアップ**する(2000年度から断続的に実施していました。2013年度に再開しました。) → <http://www.f.waseda.jp/okikiyo/>を参照(学外から見ることができるものは限定的です...。学内のネットから閲覧してください)

## 質的調査の分析

### 通称

#### 「もやし」

2020年12月の戸山キャンパスでの「1日合宿」でも実施しました(これは鴨川セミナーハウス)



## 2021年度のスケジュール

- ・ 4月～5月下旬 5分スピーチ  
– 5分スピーチ 短めの論文を4分で要約・報告し、自分の意見を1分でまとめる訓練(文献解題)+関連テーマの基礎知識の習得を目指します。
- ・ 6月～7月 調査テーマ設定+グループ編成
- ・ 7月～12月 訪問・実地調査～ゼミでの報告  
– コロナの状況を見つつ、秋学期の中で研究成果をまとめるために、戸山キャンパス内か、鴨川ないし本庄セミナーハウスでの終日の合宿?を予定しています。
- ・ 12月～2月 報告集作成+報告会

## 参考: 沖ゼミ(+沖卒)出身者の進路

- ・ 2001年3月以降の卒業生(毎年4～10名)で...
- 研究者になった方... 大学教員(千葉大2名、玉川大、関西学院大、早大センター講師)
- 大学職員になった方... 気づいたら10名以上(学内は1名だけですが)
- 教員になった方... 隔年ぐらい(時々3名とか)
- 公務員になった方... 隔年で1名(大学評価・学生支援機構等)
- ゼミ・卒論で学んだ専門性を活かせる仕事に就く傾向があります。大学での学びには「結果的に」将来につながる部分があると私は思います。